

整理番号：6-1

提言題名：台風時の情報発信について

【提言の内容】

台風19号における市からの情報発信があまりに少なく、大変不安です。

特に利根川の水位が避難情報発表の目安となる避難判断水位を越えても、市から一切情報発信がされないのは疑問です。何か訳があるのでしょうか。

加えて避難所の閉鎖についてですが、市の方で氾濫しないとの確信があつての判断ですか？それならかまわないので、何か発信してください。特に年配の方は市からの情報を頼りにしていると思うのですが、私たちのように情報を他から得られる者でさえも不安になるくらい市からの情報が少ないです。こんな大きな災害時でも市からの発信はこんなものなのか、やはり、何事も頼ってはいけないな、ということがわかりました。

市としてのスタンスというか、今回これだけ情報が少なかったことの訳があるなら教えていただきたいと思います。私の把握していないところで、情報発信していたらすみません。

(令和元年10月受付)

【回答】

○避難勧告等について

利根川の避難勧告等は、取手新町水位観測所の水位が13日午後1時40分には、警戒レベル3、避難準備・高齢者等避難開始（以下「警戒レベル3」）の発令目安の7.2mを越えましたが、利根川上流の栗橋水位観測所の水位は減少に転じており、取手でも水位が減少傾向に転じると見込まれたことから、避難情報の発令を見合わせました。しかし、その後も水位は僅かながらも上昇を続けたことと、日没の時間が迫っていたことから13日午後4時に、警戒レベル3の発令を行ったところです。

○避難所閉鎖について

12日正午に発令した土砂災害警戒区域における警戒レベル3については、翌13日午前6時以降から市職員が急傾斜地を巡視して安全確認を行い、土砂災害の危険性が低くなったと判断したため、同日午後1時に警戒レベル3の発令解除と避難所閉鎖を行ったところです。

しかしながら、利根川の水位上昇の中での避難所閉鎖であったこと、先述のとおり同日午後4時に警戒レベル3を発令したことにより、避難所を再度開設することになったこと。また、この間の水位情報を13日午前10時現在しか市ホームページに発信しなかったことは、今回の課題ととらえているところです。

なお、市からの災害防災情報発信のあり方は課題ととらえ、市民の皆様から寄せられた意見などの分析検証を行い検討してまいります。

(安全安心対策課 令和元年10月回答)